



高次脳機能障害者の就労に役立つ

視聴覚教材の開発

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、休職中の高次脳機能障害者を対象とした職場復帰支援プログラムと、就職を目指す高次脳機能障害者を対象とした就職支援プログラムの実施を通じ、障害特性に起因する職業的課題への補完行動の獲得による作業遂行力や自己管理能力の向上及び職業的課題に関する受講者の自己理解促進に資する支援技法を開発し、その成果の普及を進めています。

これまで、上記プログラムを実施してきた中で、集団（グループ）による体験ワーク（演習）や高次脳機能障害者同士の意見交換が含まれていることが、自己理解を深める上で効果があがりやすいことが分かってきました。

しかし、地域障害者職業センターの支援現場では、高次脳機能障害者同士のグループを形成するための人数が集まらない場合もあることから、個別の相談や支援で活用できる教材、映像や画像を見ながら対象者や支援者が一緒に学べる教材の開発を期待する意見が寄せられていました。

こうした状況を踏まえ、当センターでは、高次脳機能障害者の就職、雇用継続、職場復帰に役立つ視聴覚教材の開発に取り組みました。本支援マニュアル、別冊のガイドブック、ディスク媒体に、その内容と活用事例を紹介しています。

本支援マニュアルが、高次脳機能障害者の就職、雇用継続、職場復帰に向けた支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和6年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 那須 利久